

第一回 全国OV教員・教育研究シンポジウム



(C)JICA/Kenshiro Imamura



(C)JICA/Shinichi Kuno

途上国での活動経験を持つ教員の可能性について 一緒に考えてみませんか？

日時

2017年 12月23日（土）10:00～17:00

会場

京都市立二条城北小学校（京都市上京区浄福寺通下立売下る中務町487）

目的

青年海外協力隊を始めとするJICAボランティアでの経験を、国際理解教育やグローバル人材の育成等の取組みの中で活かす方法を考えます。

内容

基調講演：門川 大作 京都市長
パネルディスカッション：OV教員の教育現場での活用
実践発表：OV教員による国際理解教育実践、等

主催

独立行政法人国際協力機構（JICA）、全国OV教員・教育研究会

後援

文部科学省、京都市、京都市国際理解・グローバルキッズ研究会（予定）

お問い合わせ先：JICA青年海外協力隊事務局 参加促進・進路支援課

E-mail jvtpc@jica.go.jp TEL 03-5226-9323

シンポジウムの概要

「現職教員特別参加制度」は、学校の教員が現職の身分を残したまま、JICAボランティア（青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア）として派遣される制度です。2016年度で15周年を迎え、本制度を利用してこれまで3000名を超える教員が途上国で現地の人々と協働しながら国づくりのための活動を行ってきました。また、JICAボランティアとして活動を行った後、採用試験に合格して教員になった人もいます。これらJICAボランティア経験を持つ教員（OV教員）は、様々な工夫をしながら、途上国での経験を教育現場に還元しています。

今回のシンポジウムでは、OV教員の実践について共有し、JICAボランティアの経験が教育現場のグローバル化に様々な形で貢献できることについて理解を促進するとともに、関係者のネットワークを強化し更なるJICAボランティア経験の活用を促進していくことを目的としています。

また、シンポジウムには来年度からJICAボランティアとして派遣される予定の教員も参加します。その教員については、派遣に向けての具体的な準備や、派遣中・後の教育現場へのフィードバック方法等について考えるとともに、活動中の支援・帰国後の協働が行えるような関係者とのネットワークを構築することを目的としています。

【全国OV教員・教員研究会】

OV教員が教育現場でJICAボランティア経験を十分に活かしていないケースがあることから、各地のOV教員がネットワークを作り、お互いに意見交換をしながらより良い実践を目指す勉強会を行ってきました。2016年に開催したシンポジウムにおいて、OV教員の取り組みの成果とその重要性が確認され、それらを広く全国に発信し、取り組みを拡大していくための全国組織を立ち上げることになりました（2017年7月に設立）。

時間	分	内容・テーマ	
9:30~10:00	30	参加者受付	
10:00~10:15	15	開会挨拶	
10:20~10:35	15	講演 全国OV教員研究会について	
10:40~11:20	40	実践発表	
11:25~11:40	15	JICAの開発教育支援事業について	
11:40~12:25	45	休憩・昼食	
12:30~13:10	40	基調講演(門川 大作 京都市長)	
13:10~13:25	15	パネルディスカッションに向けた会場参加者の意見の聴取 (アンケート記入)	
13:25~14:55	90	パネルディスカッション(司会:東京都市大学 佐藤真久 教授) ①現職教員ボランティア経験者(OV教員) ②丸山 一則 氏 ③文部科学省(初中局)④関西大学 竹内啓三 教授(案)	
14:55~15:10	10	休憩・移動	
15:10~16:20	70	分科会①事前研修 ※全国OV教員・教育研究会による研修を実施	分科会②意見交換会 ※現職教員特別参加制度に関する意見交換・情報共有
16:20~16:25	10	休憩・移動	
16:25~16:45	20	①の研修のまとめ(情報共有) ※国や職種ごとに感想などを発表	
16:50~17:00	10	総括 閉会の挨拶	
17:00~18:00	60	交流会	

『第一回OV教員・教育研究シンポジウム』参加申込書

開催日 : 2017年12月23日(土)
 場 所 : 京都市立二条城北小学校 (京都市上京区浄福寺通下立売下の中務町487)

記入日2017年 月 日

フリガナ			
氏名			
性別		生年月日(西暦)	
住所	(〒 -)		
Email		TEL	
職業			
シンポジウムへの期待	<p style="font-size: small;">本シンポジウムでは参加者の皆様のご意見やご要望も取り入れてたいと思っております。気になるテーマや取り上げてほしい内容などがございましたらご自由に記載ください。</p>		

本申請書を**2017年11月30日(木)までに**、以下の宛先(メール)にお送りください。
 ※参加者の皆様のご意見・ご要望をシンポジウムに取り入れるため申込期限を設定していますが、当日参加も可能です。

送付先 : JICA青年海外協力隊事務局 参加促進・進路支援課
 丹治 宏樹/鏡^(アブミ) 景子
 〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25
 TEL: 03-5226-9323 (課代表) / FAX: 03-5226-6379
 Email: Tanji_Hiroki@jica.go.jp